



瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会

広域地方計画に対する要望活動報告

当協議会では、会員市町村が連携しながら、瀬戸内海の発展のために活動を続けてきたところです。折しも当協議会の設立趣旨と目的を同じくする国土形成計画について、全国計画並びに広域地方計画の策定作業が進められていることを踏まえ、平成 19 年度総会において、「瀬戸内海首长サミット」を開催し、「国土形成計画における瀬戸内の位置付けに関する提言」を決議しました。これを受けて、協議会では、瀬戸内海を囲む近畿、中国、四国及び九州の 4 ブロックの広域地方計画に本提言を反映させるべく、平成 20 年 1 月 23 日(水)に国土交通省 須野原豊港湾局長並びに辻原俊博国土計画局長に要望活動を行いました。

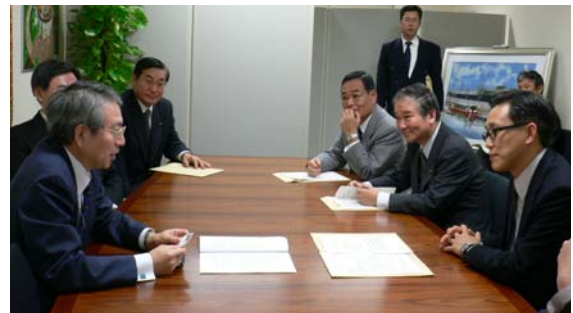
要望活動は、会長の江島潔下関市長をはじめ、高木直矢笠岡市長（副会長）、入山欣郎大竹市長(副会長)、中村佑伊予市長(監査役)、松浦稔明坂出市長(顧問)、島津幸男周南市長、高橋英吾八幡浜市長の 7 市長の参加のもと、港湾局長、国土計画局長の順に行いました。両局長へは、まず、会長より以下の要望書を直接お渡しし、趣旨説明を行った後、参加の各市長より一言ずつ、瀬戸内海を基軸とした 4 ブロックの連携の必要性について発言しました。辻原国土計画局長からは、「我々としても瀬戸内海を基軸とした広域的な必要性は十分認識しており、今後、広域地方計画の策定作業に活かすよう各ブロックに伝えていきたい」との発言をいただきました。また、辻原局長には、冬柴鐵三国土交通大臣宛の要望書をお渡ししました。

今後、協議会では広域地方計画推進室が設置されている 4 ブロックの地方整備局長等に要望活動を実施していくこととしています。

須野原 豊 港湾局長要望



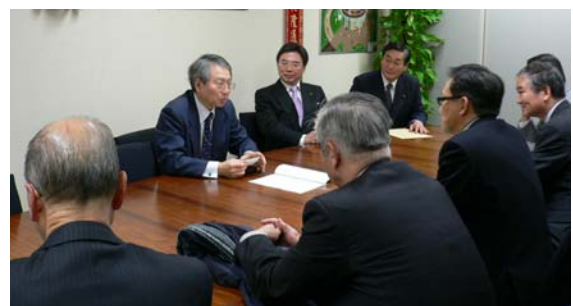
(江島下関市長より須野原港湾局長へ要望書の提出)



(左から須野原港湾局長、入山大竹市長、高木笠岡市長、高橋八幡浜市長、江島下関市長)



(左から高橋八幡浜市長、江島下関市長、松浦坂出市長、中村伊予市長)



(奥側左から須野原港湾局長、島津周南市長、入山大竹市長)

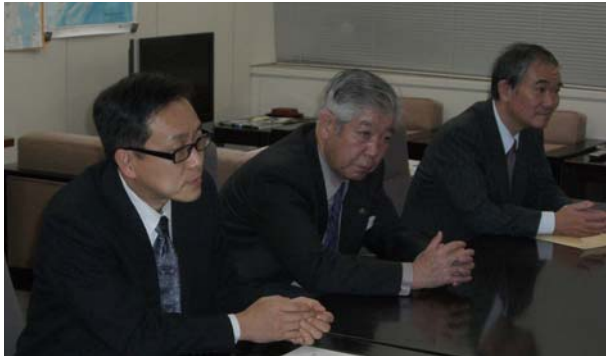
辻原 俊博 国土計画局長要望



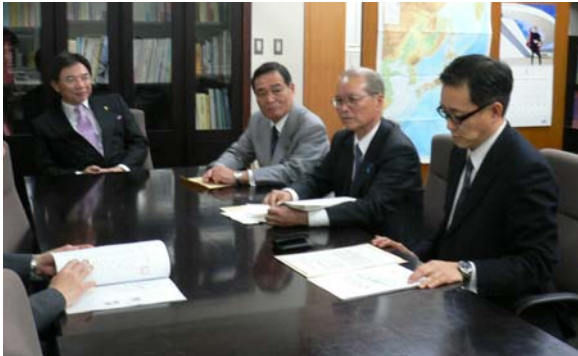
(江島下関市長より辻原国土計画局長へ要望書の提出)



(左から辻原国土計画局長、島津周南市長、高木笠岡市長、中村伊予市長、江島下関市長)



(左から江島下関市長、松浦坂出市長、高橋八幡浜市長)



(左から島津周南市長、高木笠岡市長、中村伊予市長、江島下関市長)

広域地方計画に対する要望
(近畿圏、中国圏、四国圏、九州圏)

瀬戸内・海的路ネットワーク推進協議会

推進協議会」は、瀬戸内海沿岸に位置
な文化の創造、観光、レクリエーション
で平成3年に設立されました。

「連携しながら、瀬戸内海の発展のため
祈しも、当協議会の設立趣旨と目的を
行なわれております。特に、瀬戸内海
の各ブロックの広域地方計画に当協
は、当協議会の設立趣旨を実現する絶

、4ブロックが瀬戸内海を介して広域的
基軸とした新たな圏域設定が行なわれ
他となります。これはまさに、国土形成
、多様な特色を持つ各広域ブロックが
音楽演奏の創造に他なりません。

「計画の策定意義を踏まえ、当協議会に
会において、以下の「国土形成計画に
提言」を検討いたしました。

策定にあたり、本提言を反映すべく、特
設の「配座をいただきますようお願いいたします。

計画における
すけに関する提言

域に等し、独自の文化を築き上げて
海上交通の場として栄え、沿岸の各地
地域との交流を深め、産業を興し、文

に伴い、人々の生活は海から遠ざかッ
ジョンの普及や海を中心としたリゾート
が高まっていくとともに、人々の交通の
が生まれつつある。

の歴史の積み、自然の恵みを活かすた
をさらに活用するとともに、多様な資源
海」、「島」をネットワーク化すること
に、より快適な地域を創りだすことが可

の路ネットワーク推進協議会は、瀬戸
際」に会し、新たな文化の創造、観光、
なことを目的として平成3年に設立され
を実施してきており、その存在意義は

、平成19年度中に全国計画が策定
定されていくこととなっている。これま
であったのに対し、広域地方計画は、
方支分都府、地元経済等が対等な
置付けられている。すなわち、各地
のあり方を議論していくものであり、広
域内容が反映させる絶好の機会とな

九州圏においては、地域のあり方を
捉え、どう活かしていくかが非常に重
年度の総会において、先述の設立趣
ののために今後の活動指針として以下
趣旨と広域地方計画の策定意義を踏
方計画が策定されることを願うもので

的意義のある「海の路の構築」並び
に基盤、付帯に形成した時代下で、
②失われた千島、港場の再生や災害、荒廃によるはげ山の修復等の瀬
戸内海の環境創造
③瀬戸内海の景観、歴史、文化、食、街並み等インバウンド観光時代
における瀬戸内の魅力発信

路ネットワーク推進協議会
江島 豊

野口 聖
石田 正弘
柳 実郎
清水 ひろ子
大橋 謙一
高木 直矢
村田 悠
入山 敬郎
藤田 忠夫
広瀬 寛晃
新井 哲二
岡田 好平
崎 智 恵
大森 義雄
藤本 明夫
五藤 康之
中村 佑
松浦 聡明